



福島小学校だより

ふくしま

No. 8
令和5年10月31日

ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

大きな「実りの秋」に

秋は気候がよく、何をするのも適した季節です。「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」「芸術の秋」…秋の空のもと虫探しに興じる子どもたちもいます。虫を観察したり、餌を調べたり、きれいな虫の音に耳をすませたり、絵をかいたり、俳句を作ったりと様々な学習をしています。

また、学校でも図書ボランティアの方々のご尽力により図書室の環境が整備されていますし、新しい本が増え、子どもたちは、読書タイムだけでなく隙間の時間にも進んで本を手にとっています。

10月26日5年生は有田川町へ緑育体験に行ってきました。「和歌山は木の国」ということを再発見しました。11月2日には1～4年生は社会見学や遠足に行きます。11月6日と7日は6年生が修学旅行に行きます。4年ぶりの奈良京都方面への修学旅行、日本の歴史に触れ学べる2日間です。いろいろな行事の中で、たくさんの方々に関わり、子どもたちの「こころ」と「からだ」が鍛えられ大きな実りがありますように教職員一同心を合わせ取り組んでまいります。

第3回福島秋フェスティバルが開催されました

先月10月21日(土)午後、良い天候のもと運動場で第3回福島秋フェスティバルを開催しました。育友会の方々のご尽力により、昨年よりさらにたくさんのお店を出店していただき、楽しみにしていた子どもたちは目を輝かせて活動していました。ハロウィンの季節でもあり、仮装をして登校してきた子どもたちもたくさんいました。玄関の手作り撮影スポット前で写真を撮ってもらっている子もいました。

また、今年は子どもたちも太鼓をたたき、卒業生が生で歌ってくれ「福島おどり」を大きな円になって踊ることができました。地域の方々のご尽力のもと、1学期から授業や子どもセンターで、太鼓と踊りの練習をしてきたので上手に踊れる高学年もいました。たくさんの子どもたちが参加してくれました。最後には、くじ引き大会。こちら也大いに盛り上がりました。子どもたちの思い出に残る楽しい秋フェスとなりました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

地域の方々からはたくさんのご協賛と励ましのお言葉をいただき、本当にありがとうございました。
校長 中村祐佳子

11月の学校行事予定です。

1 (水) 交通指導	13 (月) ～17日 (金) 学校開放週間	24 (金) 地震・津波避難訓練
2 (木) 1～4年秋の遠足 5・6年 通常授業	15 (水) 市内教職員研修のため 全校一斉給食後12:45頃下校	10時～ (平井中央公園へ避難)
3 (金) 文化の日	16 (木) 歯科健診1・2・3年	27 (月) 地震・津波避難訓練予備日
6 (月) 7 (火) 6年修学旅行	21 (火) スクールカウンセラー来校日	28 (火) 漢字博士試験
6 (月) 給食参観・試食会	22 (水) 5年1組研究授業	29 (水) 教職員研修のため
7 (火) スクールカウンセラー来校日	5年1組以外 13:20頃下校	全校一斉給食後13:20頃下校
8 (水) 河北地区子どもを育てる協議会 登校指導 (正門で) 7:40～ 委員会活動	5年1組のみ 14:35頃下校	
	23 (木) 勤労感謝の日	



「モルック」～目指せ！ピッタリ50！～

先日、4年生は学活の時間に「モルック」をしました。子どもたちは、昨年ボッチャを経験し、今年はモルックということで、ニュースポーツを毎年経験しています。どちらの競技も「ニュースポーツ」と呼ばれるもので、どの年代でも楽しめるものとして、広がっています。今年は、育友会の方から、学校にモルックをいただいたので4年生でモルックを勉強し、取り組んでみました。

モルックとは…

フィンランドの伝統的なゲームをもとに1996年に開発されたスポーツで、地面に立て並べられた複数の木のピンをめがけて、モルックという木の棒を投げ、獲得した点数を競うスポーツです。とても簡単なスポーツでみんなが楽しめるスポーツとなっています。



ルール

モルックを投げて倒れたスキttlの内容によって、50点ピッタリになるまで得点したほうが勝ちとなります。

スキttl(得点の木)には、それぞれ数字が書かれていて、1本倒したときは、倒したスキttlに書いてある数字が得点になります。

2本以上倒した場合は倒した数が得点になります。

また、チームの合計点が50を超えてしまうと、25点からになります。考えながら、得点を積み重ねる必要があるのも面白さの一つですね。

4年生の感想

- ・はじめ投げた時は、木を倒せなかったけど、チームの子たちが倒してくれて、50点取ることができてよかった。
- ・50点ピッタリになったときや、12点(最高得点)とれた時はみんなから「すごい」と言われて、うれしかった。
- ・前よりねらいたいところに投げられるようになった。
- ・次は、もっともっとうまく投げて、勝ちたいです。
- ・1回も50点を超えることなく、ちょうど50点を取ることができてうれしかった。



ぜひ みなさんもやってみてください！